

# 京都SDGsパートナー登録証



京都里山SDGsラボ運営協議会は、  
SDGs、CO<sub>2</sub>ゼロに  
取り組むことを宣言します。

## ●2030年のSDGs達成に向けた目指す姿と運営・事業方針●

都市部では実現できない豊かな暮らし方の実現、2050年のカーボンニュートラル社会を見据えた創造や変革を目指し、「ことす」を拠点に取り組みます。

1. 京北・北部山間地域を、ゆとりと快適が共存する場所へ
2. 新しい価値の創出、持続可能性、SDGs教育・研究拠点へ
3. 日本、そして世界のSDGsモデルに

## ●SDGsに関する重点的な取組●

木造校舎の良さを活かして地元産木材を活用した什器等の導入を行うとともに、省エネ対応の照明器具や二重サッシ、ペレットストーブの導入、徹底したごみの分別・リサイクル等による環境負荷の低減に加えて、地域事業者が整備・運営に関わることにより、持続可能な中山間地域の活性化にも努めていく。

里山の持続可能な生物多様性調査やアップサイクルファブラボ事業、衣料品をはじめとした家庭で使用されなくなった物品のリサイクル事業、「京北めぐる市」の開催、バイオガスの実証事業への連携などを通して、地域循環共生圏の実現に向けたヒトとモノとの新しい循環モデルの構築に努めていく。

こと：スクールの運営や企業向けのSDGs研修の実施、超SDGsシンポジウムや持続可能性をテーマとしたセミナー、全国中高生SDGsリーダーズプログラムや修学旅行等の受け入れ等を通して、SDGsの人材育成と情報発信の役割を担うとともに、周辺施設との連携により京北地域への交流・関係人口の増加に努めていく。

## ●文化や地域活動に関する重点的な取組●

文化を起点・契機とした山間部と都市部との交流機会の創出やSDGsへの興味・関心を高めるきっかけづくりを目指し、「京都 里山 親子文化体験事業」に取り組んでいるほか、「京北めぐる市」などではことす周辺の河川や道路等のごみ拾いを行い、関係団体と地域の清掃活動に努めている。

2023年3月31日  
(登録番号:00239)

京都里山SDGsラボ  
運営協議会  
共同代表 浅利美鈴



京都市長  
門川 大作

